

## 特集「デジタル時代のファンビジネス」

今日では国民の約半数が何らかの対象のファンとなり、「推し活」を経験していると言われており、「推し」や「推し活」といった言葉も完全に市民権を得たといえます。推し活がもたらす社会的影響や経済効果も非常に大きいと推測されています。

本特集は今日のデジタル時代を前提としたファン活動に焦点を当て、その特徴や経済・社会的な影響を議論するために企画されました。たとえば、今日の推し活の特徴の1つは、ファンが多様なメディアを使って推しの情報を集めると同時に、自らが推しに関する情報を積極的に流すことにあります。推し活(と呼ばれる類いの活動)は昔から行われてきましたが、今日のデジタル時代における多様なメディアの活用可能性は推し活を促進し、また推し活の内容にも影響する可能性があります。

今日の社会的・技術的状况を反映したファン活動やファンビジネスに焦点を当てた研究論文を本特集号では募集しております。たとえば、以下のようなテーマがありますが、以下に限らず、現代のファンやファンビジネスに焦点を当てた幅広い研究を歓迎します。

- ① SNS 活用と推し活の関係に関する研究
- ② デジタル時代のファン向けプロモーション活動
- ③ 聖地巡礼の Web 情報提供を通じた地域振興対策
- ④ 情報化社会における新しいアイドルの形と運営方法
- ⑤ 過激化するファン活動の課題
- ⑥ 次世代技術を用いたファンビジネス
- ⑦ 参加型マーケティングを支えるファン心理

なお、ご投稿をご検討いただける先生におかれましては、以下の投稿用アドレスを通じてエディターに事前にご相談を頂けると幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

合同エディター： 上田泰(成蹊大学)・吉見憲二(成蹊大学)

投稿用アドレス： journal\_1@jsim.gr.jp

原稿締切： 2026 年 7 月末